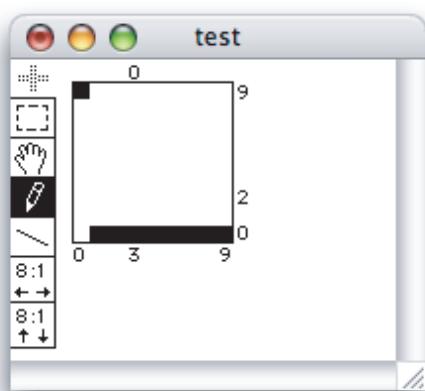


## ■table オブジェクトについて



tableオブジェクトとは  
XY座標の概念を使って、  
・値を保存したり  
・値を呼び出したり  
、、することが出来るオブジェクトである

← 例

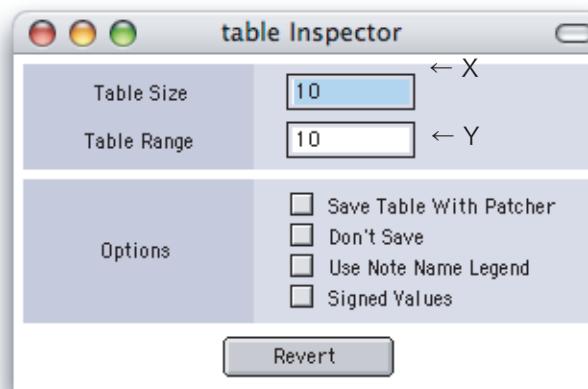
X (横軸) = 0  
Y (縦軸) = 9

場所 X=0の所に、値 Y=9 を保存した例

(↑この画面は tableオブジェクトをダブルクリックすると表示)

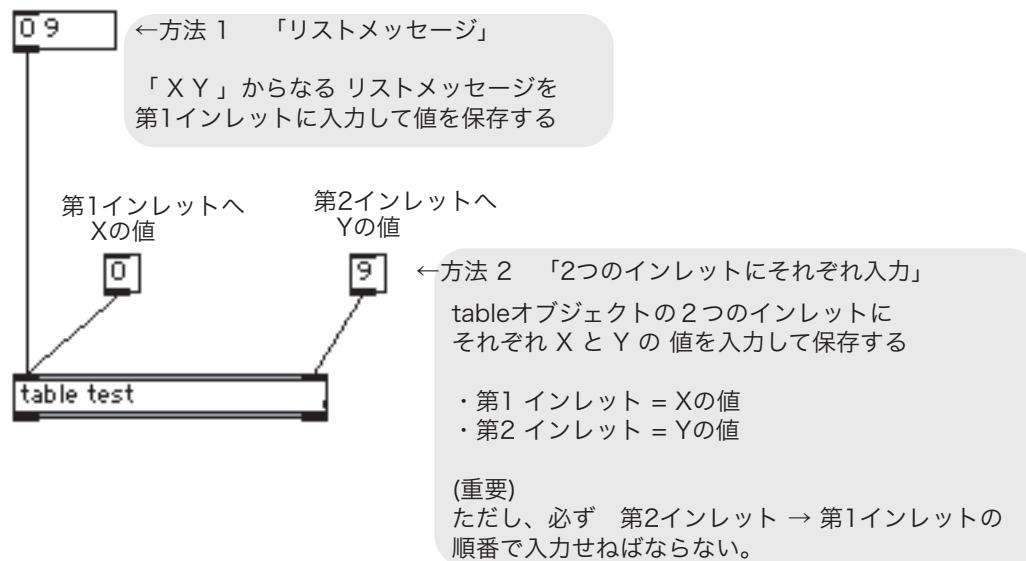
## ■座標の大きさを設定するには？

初期設定では X, Yともに 0~127の大きさだが、  
table Inspector ウィンドウで、座標の大きさを設定することが出来る



(↑この画面は tableオブジェクトを指定した上で、  
Objectメニュー > Get Info で表示 ) ( ただし Max/MSP Jitter ver. 4 )

## ■値を保存するには？



## ■値を呼び出すには？

